管財関係部課長会議　会議録

１　日　時　令和７年８月１日（金）　午後２時００分から午後３時３０分

２　会　場　愛知県自治センター大会議室

３　当番市　刈谷市

４　出席者　県・・・市町村課　　課長補佐　山下雅也
　　市町村課　　主　　査　永井宏紀
　　財産管理課　主　　査　吉田雄介
　　市・・・刈谷市財務課長　石原　秀　始め３７名
　　（欠席：日進市、新城市）
　　市長会事務局・・・竹本　恵　福井直也

５　内　容

①　開　　会　市長会事務局　福井直也

愛知県市長会では、１５部門に分けて各種部課長会議を開催しており、そのうちの一つが、この管財関係部課長会議です。これらの会議は、各部門における課題等につきまして、意見交換や情報提供を行い、また、必要に応じて、愛知県の方からご助言などもいただく、と言ったことを目的として例年開催しております。本日の会議においても、積極的に議題をお持ちよりいただきましたので、日頃の業務の参考としていただければ幸いです。

② あいさつ　市町村課　　課長補佐　山下雅也

本日お集りの皆様方におかれましては、日頃から各市の財産管理等にご尽力され様々なご苦労がある所と存じます。本日は公有財産の利活用や公用車における維持管理・民間委託について情報交換がなされると伺っております。公有財産については常に適切に管理し、その所有の目的に応じて効率的に運用する必要があるところでございます。県の状況についても情報提供しながら、本日の会議においても各市における公有財産の適切な管理運用に繋がることを期待します。

③ 議　　題

議長選出：刈谷市企画財政部財務課　石原課長（市施行順により決定）

【議題１】旧墓地、旧処刑場等の跡地活用について（岡崎市提出）

【要旨】当市には過去に墓地や処刑場として使用されていた公有地が多数ありますが、これらの土地は処分が極めて困難（土地が小さい、忌まわしい使用であった）なため、長期間放置されています。旧墓地、旧処刑場に限らず処分が困難な土地について、各市の有効活用の事例があればご教示ください。

【各市補足説明】なし

【状況まとめ・議長刈谷市】所有しているという回答は１８市。有効活用無し。有償貸付は数市あり。

【提案市からの質問】なし

【各市からの質問】なし

【県からのコメント】県有地で過去に墓地や処刑場として使用されていた土地なし。有効活用についてはＨＰでアイディア募集の取り組みを行っている。

【議題２】国または県が管理する公共用地への移管について（岡崎市提出）

【要旨】当市では、監査委員により公有地の管理について厳しくチェックされている。国または県が管理する道路用地や河川用地となっている市有地が存在し、管理についての指摘を受けているが、現状では整理されていません。これらの土地の整理を進めているか、また、整理を行った自治体があれば、その手法（売却、譲与、交換など）、価格算定根拠、測量費用などの費用負担について各市の状況をご教示ください。

【各市補足説明】なし

【状況まとめ・議長刈谷市】全ての市で整理されていないという回答。

【提案市からの質問】なし

【各市からの質問】なし

【県からのコメント】道路用地（道路維持課より）・河川用地（河川課より）：このような市有地については引き続き使用させていただきたい。

【議題３】一般競争入札における自動販売機設置について（春日井市提出）

【要旨】当市ではより効果的に財源の確保を図るため、公共施設の空きスペースの有効活用及び施設利用者の利便性の向上を目的とする自動販売機の設置場所（行政財産）にかかる貸付については、一般競争入札を実施し、私法上の契約を締結しています。また、行政財産は本来、その事務又は事業を所管する課等の長が管理することとなっていますが、事務の効率化を図るため、

財政課（管財担当）で一括して貸付に係る契約事務を行っているところです。事務に当たっては平成２８年に作成した自販機設置の手引きに沿って行っていますが、手引き作成当時の実績から最低貸付料を売上金額の 35%としています。近年、最低貸付料が見合わず入札参加者が減少しており、また、売り上げが当初の見込みに達せず赤字となっているとの理由（ジュースの値上げやコロナ禍の影響）で途中解約の申し出が複数件ありました。当市における今後の事務処理のあり方を検討するにあたり、施設利用者の利便性の向上を図り、多くの収入を得るために工夫していることはありますか。

【各市補足説明・岡崎市】公募を行っている。近年、途中解約が増えている。

【状況まとめ・議長刈谷市】３０を超える市が入札を行っており、貸付料も様々。アイスの販売等で工夫することもできると思う。

【提案市からの質問】無し

【各市からの質問・大府市】使用料ではないが、自販機の取り組みとして「脱プラスチック」を実施しており、ペットボトル販売を禁止したところ、参加業者が減っている。そういった事例はあるか。

→無し

【県からのコメント】県も入札により自販機の貸付を実施。使用料は行政財産の特別使用に係る使用料条例と個々の施設の使用状況から算定している。特別な工夫は無い。

【議題４】公用車管理の民間委託について（刈谷市提出）

【要旨】公用車を管理する職員については、一般職員が 100 台以上の管理（点検・車検・修繕等）に携わり、かなりの負担と考えます。公用車管理の民間委託について検討を進めているか、実績のある自治体におかれましては、検討の概要について情報共有を図りたい。

【各市補足説明】なし

【状況まとめ・議長刈谷市】数市が検討から導入に至っている。

【提案市からの質問】なし

【各市からの質問・岡崎市】公用車を自前で持たず、リースでの運用を検討している。そういった事例はあるか。

→（碧南市）市長車、議長車、電気自動車はリースで運用している。

→（豊田市）大部分の公用車をリースで運用している。

【各市からの質問・豊田市】リースではなく、民間事業者と公用車をシェアリングしている市はあるか。公用車は土日の使用が無くもったいない。保有する公用車を減らしたいという観点がある。

→（岡崎市）休日夜間の民間への貸出、職員への貸出を検討している。

→（常滑市）電気自動車を導入する際に、リース契約や休日夜間の貸出を検討、業者から提案を頂いたが、費用面で断念した。

【状況まとめ・議長刈谷市】市長車、議長車などリースで運用している。他にもという意見があったが、災害時や緊急時の対応も考える必要がある。

【県からのコメント】県では集中管理公用車のメンテナンス（車検など）を委託している。委託化することで事務の削減に繋がった。税務課や企業庁でも随時導入に至っている。

【議題５】保険契約の個人情報漏洩特約とサイバー特約について（刈谷市提出）

【要旨】全国市長会「市民総合賠償補償保険」には、個人情報漏洩特約に加えてサイバー特約が令和４年度より新設されています。個人情報漏洩や大規模サイバー攻撃等の事故については、どの自治体でも起こり得るものと考えます。同保険の加入実態と使用実績を教えてください。

【各市補足説明】なし

【状況まとめ・議長刈谷市】未加入の市も１１市ほどある。

【提案市からの質問】加入の費用もそれなりで使用実績は少ないため、来年度以降の加入取り止めを検討している市はあるか。

→なし

【各市からの質問】なし

【県からのコメント】県ではこれに相当する保険はありません。

【議題６】時間外警備員（守衛・戸籍受理）の雇用形態について（豊田市提出）

【要旨】当市では、閉庁日を含む時間外の守衛業務や戸籍届出の受理業務について、会計年度任用職員を雇用して対応していますが、労務管理や人員確保が煩雑であるため、今後、外部委託を検討しています。ただし、戸籍受理業務については、職員による本人確認を実施することとなっている（法務省通知）が、これを委託事業者だけでは完遂できないと考えられ、どのような取り組みがされているか。

【各市補足説明】なし

【状況まとめ・議長刈谷市】守衛についてはほとんどの市で委託、戸籍業務については本人確認の権限が与えられていないため、会年等で行っている市も見られる。

【提案市からの質問】なし

【各市からの質問】なし

【県からのコメント】守衛については委託、戸籍については県の業務に該当無し。

【議題７】庁用バスの運用について（常滑市提出）

【要旨】当市では視察や研修等において多人数で移動する場合、マイクロバス（定員 28 名）及び中型バス（定員 40 名）を所有し、運転手（大型免許所持）を任用しています。しかしながら、バスが 21 年を経過し老朽化しており、運転手も高齢化していることから、現在、庁用バスについて委託化も含め今後の運用について検討しております。中古バスでも高額、運転手の新規雇用の予定なし。庁用バスの運用について、各市町の状況についてご教示ください。

【各市補足説明・稲沢市】保有のバスは福祉バスとして運用しており、用途や乗る人が制限されている。

【状況まとめ・議長刈谷市】１２の市で所有無し。市で所有・運転士も市で運用はあまりない。多いのは市で所有・運転士は委託。

【提案市からの質問・常滑市→知立市、北名古屋市】市で所有・運転士は委託で実績が同程度だが、運転士は年間を通じて常駐するのか、その都度の契約か。

→（北名古屋市）通年の単価契約、年間８０日程度の見込み

→（知立市）通年の単価契約、受託者の選定が困難、バスも老朽化が進み苦労している。

【各市からの質問・西尾市】バスの老朽化が進み予算要求しているが、なかなか通らない。バスの廃止を検討している市はあるか。

→（春日井市）２台あるうち１台を減らす検討をしたが、災害時などに使う想定もあるため減らすには至っていない。

→（安城市）大型１台、マイクロ２台を保有していたが、マイクロバスを１台にした。

→（半田市）バスの老朽化が進み買い替えを進めたいが財政状況から厳しい。廃止も含めて検討しなければならないと考えている。

→（尾張旭市）バスの老朽化が進み、運転手の委託先もなかなか見つからないので、今年度より廃止した。

→（豊橋市）バス１台保有しているが、老朽化が進み、運転手も高齢化しているので、来年度より廃止の検討に入った。

→（岡崎市）岡崎市のバスが他市に比べて多いように思えたので、今後の参考にしたいと思う。

【県からのコメント】県職員で運用するバスは無い。議員が使用するバスは保有しており、運転手も委託している。使用実績は１０４日です。

【議題８】立木竹（りゅうぼくちく）の公有財産台帳への記載について（小牧市提出）

【要旨】当市では小牧市財産管理規則により、公有財産は公有財産台帳に記載す

る必要がありますが、立木竹については、すべてについて台帳へ記載できていないのが現状です。（議員からの指摘事項）そこで、立木竹の台帳への登録状況について各市の状況をご教示ください。

【各市補足説明・一宮市】回答は、全ての樹木について登録はありません。

【状況まとめ・議長刈谷市】回答では、ほとんどの市で登録は無いが、登録のある市も数市ある。

【提案市からの質問・小牧市】登録のある市に質問をしたい。立木竹の全てを台帳へ記載は可能か。一定範囲の記載なのか、一定範囲の定義はあるか。

→（名古屋市）立木に関する法律により、立木登記をした樹木については公有財産台帳へ登録している。このため、すべての立木竹を台帳へ記載しているものではない。現状としては、野外教育施設にある立木のみが登記され、台帳登録されている。

→（豊橋市）回答を、全ての記載ではないと変更したい。

→（稲沢市）４年に１度調査を実施しているが、管理できていないものもあり、全ての記載とは言えないかもしれない。

→（東海市）記念樹等の植栽したものを記載している。高木は本数で、低木は面積で記載している。現地確認は直近で増減があったときや定期監査に合わせて行っている。

【提案市からの質問・小牧市→名古屋市】確認はどのようにしているか、頻繁に出入りの場所とは野外教育施設のことか。

→（名古屋市）そのとおりです。

【状況まとめ・議長刈谷市】各市からの回答は、市長会で修正したのち再度の共有をお願いします。

【県からのコメント】県でも財産管理の一つとして登録をしているが、全てではない。規則等は参考資料のとおり。定期的な点検も行っている。

【議題９】普通財産の売払いにかかる費用負担について（知立市提出）

【要旨】売払いに要する費用（測量・分筆・境界確定ほか）について、慣例として、法定外公共用物の売払いは買取希望者負担とし、一般競争入札による売払いは市で負担しています。規則・要領等に規定はなく、原因者負担の考えによるものですが、近年では、企業誘致による売払い等、原因者が曖昧な案件も出ており、費用負担に関する基準のあり方を検討しています。売払いにかかる費用負担に関する取扱いについて、状況をご教示ください。

【各市補足説明】無し。

【状況まとめ・議長刈谷市】費用負担は各市で様々。

【提案市からの質問】無し。担当者から改めて個別に連絡が入るかもしれない。

【各市からの質問】無し。
【県からのコメント】普通財産の売払いに要する費用（測量・分筆・境界確定）については、基本は県が負担している。所有権移転の登録免許税は本人負担。

【議題１０】公共施設に係る有償借地について（北名古屋市提出）
【要旨】当市は公共施設の敷地について、民有地を有償で借地（土地賃貸借契約）しており、その賃料負担が財政状況を圧迫（１５万㎡・年間４億円）しております。つきましては、各市の状況についてご教示ください。
【各市補足説明】無し。
【状況まとめ・議長刈谷市】ほとんどの市で有償借地あり。蒲郡市のみ借地解消で良いか。
【提案市からの質問・北名古屋市→稲沢市】借地解消基本計画について。
→（稲沢市）平成３０年から借地解消基本計画を定め、令和５年度に再計画。解消に向けた各課ヒアリングの成果をまとめ、施設ごとの方針を定めた。
【各市からの質問・知立市】字句の訂正　保険
【県からのコメント】特に無し。

【議題１１】備品の基準及び不要備品の処分について（弥富市提出）
【要旨】当市では、備品と消耗品との判断基準の見直しを考えています。弥富市物品管理規則において、備品をおおむね 3 年以上継続使用できるものとし、消耗品を取得価格が 3 万円未満のものとしています。このため事務の煩雑化に繋がっている。また、公共施設の統廃合を進める中で、まだ使用できるが所管替えが見つからない備品の処分方法についても検討しています。つきましては、各市の取り組み状況についてご教示ください。
【各市補足説明】無し。
【状況まとめ・議長刈谷市】備品の規定額は５万・３万が多い。売払いを行っている市もある。
【提案市からの質問・弥富市→大府市、尾張旭市】メルカリで売払いしているが、販売価格の設定はどのように行っているか。基準や参考値はあるか
→（大府市）始めたばかりだが、メルカリで出品中の同等品や購入時の価格を参考に職員が算出している。下限はメルカリの出品額３００円。
→（尾張旭市）2023 年開始。メルカリや他のサイトで出品中の同等品を参考に職員が算出している。郵送料もかかるので大きなものは扱わない。
【各市からの質問・岡崎市】昔は３万円だったが１０万円に基準を上げた。メルカリの導入を検討したことがあるが、今は断念した。売値の１０％と手数料が１００円必要（最低３００円必要）になるが、この値段は一括で歳出計上

か、各課対応か。また、歳入はどのように処理（雑入 or 財産売り払い収入）しているか。

→（大府市）歳出は一括で管理（行政管理課）、歳入は財産売り払い収入で対応している。

→（尾張旭市）手数料は販売価格から差し引きなので計上無し。歳入は財産売り払い収入で対応している。

→（蒲郡市）担当外なので不明。

【各市からの質問・東海市】備品の額は検討している。R8 から３万→５万円に引き上げの予定。売却は官公庁オークションで検討中。

【各市からの質問・高浜市】備品の額は５万円。１０万円に引き上げの予定の市はあるか。

→無し

【状況まとめ･議長刈谷市】１０万円でなくても､上げる検討をする市はあるか。

→無し。

【県からのコメント】県の備品の規定ではおおむね１年、消耗品は長期使用に耐えない物等、３万円以下のもの。R8 から１０万円に引き上げの予定。売却については取得価格１００万円以上のものは処分協議を行い､売却の手続きをしている。１００万以下のものは各課対応。自動車は全て処分協議の対象。

【議題１２】その他

【蒲郡市】議題１０の訂正。豊田市の回答に近い。

【状況まとめ・議長刈谷市】市長会で修正したのち再度の共有をお願いします。

【碧南市】ＮＨＫ受信料の未払いについて。公用車の何をもって映らない（解除）と見なすか、ＮＨＫとの協議結果を情報提供したい。

・アンテナの物理的撤去

・コネクタの切除（ニッパー等の切断）

以上どちらかで良い旨、文書（ＰＤＦ）を受領している。解除については委託業者または職員で対応した。

【豊田市】豊田市もＮＨＫと協議中。徴収については過去に全て遡る。契約の仕方によっては柔軟な対応（一番安価な契約）も見込まれる。

【碧南市】車は１つの事業所扱いで、半額等の対応は無し。同じ空間にもう一台あれば半額等の措置がある。福祉事業所は減免対象もある。

④ 次年度当番市の決定　豊田市

⑤ 閉　　会　市長会事務局　福井直也